

●開催校企画特別セッション(120分)

「経営学者のこゝろ」

講演形式

- ◎西村 友幸 (小樽商科大学大学院 商学研究科 教授)
 加藤 敬太 (小樽商科大学 商学部 准教授)
 奥村 昭博 (静岡県立大学 副学長・慶應義塾大学 名誉教授)
 加護野 忠男 (神戸大学 特命教授・神戸大学 名誉教授)
 金井 一頼 (青森大学 学長・大阪大学 名誉教授)
 吉原 英樹 (神戸大学 名誉教授)

[概要]

10月18日(日) 13:40~15:40 A会場

「遠い未来への時間展望をもつには、自分自身が連綿と続く歴史プロセスの一部である、と考えることが不可欠である」。1999年秋、京都で開催された組織学会40周年記念大会の講演の席でジェームズ・G・マーチはそう提唱しました(『組織科学』第33巻第4号参照)。こういった見解に触発され、私たちは科研費の交付を受けて「わが国現代経営学の回顧と展望」と題する調査を行ってきました。研究の中核は、「現代」(1970年代半ば以降)を生きた経営学者から直接お話を聞いて記録すること、いわゆるオーラルヒストリーです。アーカイブは「経営学者のこゝろ」というタイトルで、今までに以下の5篇が小樽商科大学紀要『商学討究』に掲載されています。

- [I] 奥村昭博先生・加護野忠男先生に聞く 『商学討究』第68巻第4号、2018年3月
 [II] 金井一頼先生に聞く 『商学討究』第69巻第1号、2018年7月
 [III] 吉原英樹先生に聞く 『商学討究』第69巻第4号、2019年3月
 [IV] 岸田民樹先生に聞く 『商学討究』第70巻第4号、2020年3月
 [V] 伊丹敬之先生に聞く 『商学討究』第71巻第1号、2020年7月

本セッションでは、これまで個別にお話をうかがってきた先生方にお集まりいただき、改めて研究の足跡と今後の展望についてご講演いただきます。意見交換やQ&Aも取り入れ、「経営学者のこゝろ」に深く触れる場を提供したいと考えております。

【出演予定者】奥村先生、加護野先生、金井先生、吉原先生

[参加者へのメッセージ]

■アーカイブ[I]～[V]をご覧ください。どれも小樽商科大学の機関レポジトリ(通称 Barrel)に登録されています。

<https://barrel.repo.nii.ac.jp>

(「経営学者のこゝろ」もしくは語り手の先生の名前で検索)

■事前にご質問を受け付けいたします。下記宛てにメールをお送りください(9月23日締切とさせていただきます)。

keieigakusha.kokoro@gmail.com

■当日の質問も受け付けいたします。質疑応答の時間になりましたらZoomのチャットをお使いください。